



## 2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月12日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東  
 コード番号 4576 URL <https://www.dwti.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 川上 哲也 (TEL) 052-218-8785  
 四半期報告書提出予定日 2022年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第1四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	109	22.3	△37	—	△26	—	△21	—
2021年12月期第1四半期	89	20.2	△50	—	△40	—	△41	—

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 △27百万円 (—%) 2021年12月期第1四半期 △41百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	△0.74	—
2021年12月期第1四半期	△1.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第1四半期	2,387	2,008	83.0
2021年12月期	2,462	2,035	81.4

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 1,981百万円 2021年12月期 2,004百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370	△10.7	△690	—	△700	—	△670	—	△22.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期 1 Q	29,358,600株	2021年12月期	29,358,600株
② 期末自己株式数	2022年12月期 1 Q	100株	2021年12月期	100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期 1 Q	29,358,500株	2021年12月期 1 Q	29,283,345株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

上市品2品（緑内障治療剤「グラナテック<sup>®</sup>点眼液0.4%（以下、「グラナテック」）」、眼科手術補助剤「DW-1002」）については、ライセンスアウト先において順調に販売されております。また、2月に「グラナテック」のシンガポール販売開始となりました。

開発パイプラインについては、3月に眼科用治療剤「DW-1001」の国内第I相臨床試験が開始されました。緑内障治療剤「H-1337」は、米国後期第II相臨床試験の準備を進めております。

研究プロジェクトについては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動及び他社との共同研究を推進いたしました。

以上の結果、売上高については、各上市品のロイヤリティ収入及び「DW-1001」のマイルストーン収入等により、合計109百万円（前年同期比22.3%増）を計上し、売上原価に7百万円（前年同期比78.8%増）を計上しました。

販売費及び一般管理費については、140百万円（前年同期比3.0%増）となりました。その内訳は、研究開発費が75百万円（前年同期比15.9%増）、その他販売費及び一般管理費が64百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

これらにより、営業損失は37百万円（前年同期営業損失50百万円）となりました。また、営業外収益に為替差益11百万円を計上したこと等の結果、経常損失は26百万円（前年同期経常損失40百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は21百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失41百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下のとおりです。

## ①開発パイプライン

開発コード等		対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
リパスジル 塩酸塩水和物	グラナテック	緑内障・高眼圧症	上市	日本、アジア (注1)	興和
	K-321	フックス角膜内皮変性症	第II相臨床試験	米国	興和
リパスジル塩 酸塩水和物/ ブリモニジン 酒石酸塩	K-232	緑内障・高眼圧症	申請	日本	興和
DW-1002		内境界膜剝離	上市	欧州・米国等	DORC
		内境界膜染色	第III相臨床試験	日本	わかもと製薬 (WP-1108)
		白内障手術	第III相臨床試験	日本	
DW-1001		眼科用治療剤（非開示）	第I相臨床試験	日本	ロート製薬
H-1337		緑内障・高眼圧症	第I相/前期第II相臨床試験	米国	自社開発
DW-5LBT		帯状疱疹後の神経疼痛	申請	米国	メドレックスと共同 開発（MRX-5LBT）
未熟児網膜症治療薬（注2）		未熟児網膜症	臨床試験準備中	日本	子会社JIT開発

(注1) アジア一部地域において上市されております。

(注2) JITは未熟児網膜症等診断薬について、アジア一部地域における独占の実施権をSplendor Health International Limitedに再許諾するライセンス契約を締結しております。

## ②研究プロジェクト

当社グループは、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした新薬候補化合物の創出を行っております。プロテインキナーゼを対象とする疾患は様々ですが、特に眼科関連疾患に注力した研究を推進しております。また、自社の創薬基盤技術を活かし、他社との提携を積極的に推進しております。

主なプロジェクトとしては、眼科関連疾患や神経系、呼吸器系疾患等を対象としたシグナル伝達阻害剤開発プロ

ジェクトを当社開発研究所（国立大学法人三重大学の研究施設）において行っております。また、共同研究として、Glaukos Corporationとの新規デバイス創出プロジェクト、ユビエンス株式会社との標的タンパク質分解誘導薬プロジェクト、SyntheticGestaltとの炎症系・中枢系疾患を対象にしたキナーゼ阻害剤のAI創薬プロジェクト等複数のプロジェクトを進めております。

（2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末から75百万円減少し、2,387百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から66百万円減少し、2,095百万円となりました。主な要因は、売掛金が68百万円、流動資産のその他が29百万円増加した一方で、現金及び預金が164百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から8百万円減少し、292百万円となりました。主な要因は、契約関連無形資産が10百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から48百万円減少し、379百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から13百万円減少し、179百万円となりました。主な要因は、未払金が12百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から34百万円減少し、199百万円となりました。この要因は、長期借入金が34百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末から27百万円減少し、2,008百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が21百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は83.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の通期連結業績予想につきましては、2022年2月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,933,743	1,768,982
売掛金	101,674	170,046
貯蔵品	88,399	88,393
その他	38,365	68,137
流動資産合計	2,162,183	2,095,559
固定資産		
有形固定資産	4,567	6,600
無形固定資産		
契約関連無形資産	164,571	154,285
その他	2,047	1,768
無形固定資産合計	166,619	156,054
投資その他の資産	129,489	129,473
固定資産合計	300,676	292,128
資産合計	2,462,860	2,387,687
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	129,524	134,286
未払金	41,759	28,975
未払法人税等	9,889	4,504
その他	12,072	12,144
流動負債合計	193,245	179,910
固定負債		
長期借入金	210,476	175,714
その他	24,000	24,000
固定負債合計	234,476	199,714
負債合計	427,721	379,624
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	573,159	573,159
資本剰余金	2,631,398	2,631,398
利益剰余金	△1,200,276	△1,222,137
株主資本合計	2,004,281	1,982,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△569
その他の包括利益累計額合計	—	△569
新株予約権	2,692	2,692
非支配株主持分	28,164	23,520
純資産合計	2,035,138	2,008,062
負債純資産合計	2,462,860	2,387,687

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	89,688	109,717
売上原価	3,916	7,001
売上総利益	85,771	102,715
販売費及び一般管理費		
研究開発費	65,574	75,971
その他	71,001	64,735
販売費及び一般管理費合計	136,576	140,706
営業損失(△)	△50,805	△37,991
営業外収益		
受取利息	9	13
為替差益	11,049	11,781
その他	132	1,000
営業外収益合計	11,190	12,794
営業外費用		
支払利息	1,216	886
その他	113	24
営業外費用合計	1,330	910
経常損失(△)	△40,944	△26,107
税金等調整前四半期純損失(△)	△40,944	△26,107
法人税、住民税及び事業税	398	398
法人税等合計	398	398
四半期純損失(△)	△41,343	△26,506
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△4,644
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△41,343	△21,861

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純損失(△)	△41,343	△26,506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△569
その他の包括利益合計	—	△569
四半期包括利益	△41,343	△27,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,343	△22,431
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△4,644



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
減価償却費	11,156千円	11,216千円

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当第1四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年3月31日）

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## （重要な後発事象）

## （譲渡制限付株式報酬としての新株式発行）

当社は、2022年4月14日開催の取締役会において、下記のとおり新株式の発行を行うことについて決議し、2022年5月12日に発行が完了いたしました。

## 1. 発行の目的及び理由

当社は、2018年2月15日開催の取締役会において、当社の取締役（社外取締役を除く。以下、「対象取締役」）及び当社子会社の取締役（社外取締役を除く。以上を総称して以下、「対象取締役等」）が、株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めるため、対象取締役等に対し、譲渡制限付株式を交付する株式報酬制度（以下、「本制度」）を導入することを決議いたしました。

また、2018年3月29日開催の第20期定時株主総会において、本制度に基づき、対象取締役等に対する譲渡制限付株式に関する報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を年額30百万円以内として設定することにつき、ご承認をいただいております。

## 2. 発行の概要

払込期日	2022年5月12日
発行する株式の種類及び数	当社普通株式74,200株
発行価額	1株につき213円
発行総額	15,804,600円
資本組入額	1株につき106.5円
資本組入額の総額	7,902,300円
募集又は割当方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
割当対象者及びその人数並びに割当株式数	当社の取締役（社外取締役を除く）2名に対して64,400株当社子会社の取締役（社外取締役を除く）4名に対して9,800株
譲渡制限期間	2022年5月12日～2025年5月11日
その他	本新株発行については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

## （新株予約権の取得及び消却）

当社は、2022年4月25日開催の取締役会において、2020年8月7日に発行いたしました第10回新株予約権（行使価額修正条項付）（以下、「本新株予約権」といいます。）につきまして、残存する全ての本新株予約権を取得するとともに取得後直ちに本新株予約権を消却することを決議し、2022年5月11日に実施しております。

## 1. 新株予約権の取得及び消却の理由

当社は、2020年8月7日に本新株予約権を発行いたしました。29,932個（2,993,200株）が行使され、調達額は累計で1,050百万円となっております。しかしながら、現在の当社株価は本新株予約権の下限行使価格（1株あたり287円）を下回って推移していることから、行使が進んでおりません。現在の株価水準及び今後の市場環境等を総合的に勘案した結果、当社としては、本新株予約権による資金調達を中止し、改めて資金調達手段を検討すべきであると判断いたしました。

そのため、会社法第273条第1項及び同法第274条第1項並びに本新株予約権の内容（発行要項第14項本新株予約権の取得事由第（1）号）に従い、残存する本新株予約権の全部を取得し、消却することにいたしました。

なお、当社の経営上重要な開発品である「H-1337」の米国後期第Ⅱ相臨床試験の開発資金については、本調達において確保しております。

## 2. 取得及び消却した新株予約権の内容

(1) 取得及び消却した新株予約権の名称	株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 第10回新株予約権（行使価額修正条項付）
(2) 取得及び消却した新株予約権の数	22,068個
(3) 取得日及び消却日	2022年5月11日
(4) 取得価額	2,692,296円 （発行価額と同額である新株予約権1個につき122円）
(5) 取得先	SMB C日興証券株式会社
(6) 消却後に残存する新株予約権の数	0個